

公益財団法人 日本クリスチャン・アカデミー機関誌

はなしあい

題字 元総理 片山哲 筆

2016年7・8月号

発行編集人

公益財団法人 日本クリスチャン・アカデミー
代表理事 小久保 正

発行所

日本クリスチャン・アカデミー
京都市左京区一乗寺竹ノ内町23
075 (711) 2147

NIPPON CHRISTIAN ACADEMY

第576号

東京の運営委員会に出て感じた。まず委員の皆さんお忙しそうだ。特に牧師の皆さんはご多忙とお見受けする。顔色の悪い方もおられる。大病を経験されたのか。

牧師の忙しさは、今さらのことではなかるう。教会員に支えられ、仲間の牧師に支えられ、ご家族に支えられながらであつても、牧師であるが故の忙しさは、傍からはわからないことの方が多いように思う。さらにアカデミーに關係されている牧師で日本基督教団の方は、取り組まなければならぬことも数々あるうから、肉体だけでなく精神の方もすり減らしておられるのではないかと推測する。

本誌のタイトル『はなしあい』は、1960年に始められ、61年5月、財団法人日本クリスチャン・アカデミーが設立された時以来、掲げられている「ターゲット」という中心テーマを日本語で表したものだと思ふ。

東京の運営委員に任命された時、嬉しかったのは、「ターゲット」に連なれるという高揚感だった。しかし、実際に

運営委員会に出ると、「ターゲット」という言葉がまず聞かれない。「はなしあい」もプログラムを検討する時には耳にするが、「はなしあい」自体には皆さん関心がなさそうにも思えた。

クリスチャン・アカデミーに限らず、キリスト教関係組

「ターゲット」今いずこ



郡山 千里

関東活動センター運営委員

「はなしあい」にはまず「聞く」ことが先行する。「聞く」ことに耐えられる運営委員はいらつしやるのか。「それなら辞める」と言い出されるのではないかと不安になる。「聞く」としても、「聞きたくなるようなこと」を話す人は現実には少ない。そう

思うのだが、それが表に出て来ない。

クリスチャン・アカデミーの「辛さ」は、社会の激変の中で求められているのが「はなしあい」ではなく「はなしあい」になったことではないか。「はなしあい」というのは「聞いてほしい」「聞かせ

ると聞きたくもない発言の中からこれぞというものを捜し出すような、「聞き上手」であることこそ、運営委員が心掛ける必要があるように思う。

運営委員の多くは、アカデミー以外の奉仕、保育・介護、育成・教育団体や組織にも関係されていて、それぞれも顔なじみになられている。そして類似の活動をされては、「良い企画なのに人が集まらない」と嘆かれるようだ。

近頃はプログラムを共催する形も試みられるが、それでも人が集まらない。「宣伝にもっと力を入れなくては」と毎回、反省の声上がる。その通りではあるが、これと言った解決策を見つけれられていない。

運営委員会に出て思うこと。まずわたしたち同士が「はなしあい」に徹したい。「上から目線」の啓発意識で進めるプログラムに人を集めようとするのと自体、所詮無理なはなしと皆が納得するまで。全てはそこから、と思ふのだ

が…。(世界キリスト教情報主宰)

関東活動センター

●2016年度 関東フォーラム 今日の課題 共催プログラム
『『壊憲』状況と戦争法案を撃つ』

慶應義塾大学名誉教授 小林 節さん

主催 戦争をゆるさない東京キリスト者の会
会場 日本キリスト教会館6階

2016年6月21日(火)
約六〇名であった。



「『壊憲』状況と戦争法案を撃つ」と題しての小林節さん(慶應大学名誉教授)の講演会は、六月二日(火)夕刻より、日本キリスト教会館六階会議室にて開催。参加者は約六〇名であった。

「壊憲」状況と戦争法案を撃つを受けて、同会と日本クリスチャン・アカデミー関東運営委員会の共催で開催。

昨年の九月一九日に、参議院で安保関連法案の強行採決。多くの民意を無視しての暴挙であった。これに先立つ

昨年六月、衆議院憲法審査会に今回の講師・小林節さんは民主党(当時)推薦の参考人として出席。他の二人の憲法学者と共に、その場にて集団的自衛権の行使容認について「違憲」だとはつきりと見解を表明した。

この度の講演会は、こうした意見を持つ憲法学者である講師より、昨年に制定された一連の法の違法性と危険性とを改めて学ぶためのものがあった。

七月の参議院選に向けて、講師が代表となって「国民怒りの党」を立ち上げられたため、政見放送の録画を終え、開始時間ぎりぎりに会場に駆けつけてこられた。それから約一時間 持論を展開し、この間の情勢に関して多岐に亘って熱く語られた。

講演は、集団的自衛権の違憲性に関する話から始まった。他国から不当な侵略行為や攻撃を受けた場合、何ら反撃もしないのではなく、第二警察との位置づけである自衛隊をもってこれを押しとどめ、平和を回復する。これが、現憲法の規定から導かれる正当な解釈であり、この国が日本国憲法に立脚しているとするれば、許されるのはこうした対応までである。

しかし、今回制定された戦争法では、こうしたあり方を大きく踏み越えて、同盟国(アメリカ)の戦争に協力・負担し、後方支援という名の下に武力的行動を為そうとするものであり、これは重大な憲法違反だと強調された。

この国の政治における第一の使命は、主権者国民を重んじ、主権者の幸福を増進することに尽き、それらは一人ひとりの自由さと豊かさが実質であり、これは平和があつてこそ実現されると考えているとのこと。

政府は北朝鮮や中国の脅威を持ち出し、安全保障環境の変化・劣悪化を法律整備の理由としてきたが、現実的に考え、北朝鮮や中国がアメリカや日本と紛争状態に至る可能性は極めて低く、こうした主張に踊らされたり、無闇に不安を掻き立てられてはならないと強調された。

かつては自民党(安倍晋三首相)から要請を受け、憲法的アドバイスも行ってきたという講師だが、どれだけ真剣に意見しても自民党も総裁も自分の見解に耳を貸さないようになり、次第に相手にされなくなつたとの経緯も披露された。

憲法を破壊し続ける安倍政権を打倒するために、昨年九月以降はさらに真剣に何が必要かを考え、野党が協力して、選挙区でもまた比例区でも候補を一本化できるようにとの働きかけを行ってきたとのこ

と。しかし、選挙区(一人区)では統一候補が実現したが、比例区までは踏み込むことができず、各党が候補者を立てることとなった。このままで与党の勝利は明らかかなので、自らも何らかのアクションをと「国民怒りの声」を結成し、比例区での闘いを進めることとした事情など、この間の情勢に関して、歯に衣着せぬ表現で語った。

報告作成の現在、既に参院選の結果は出ており、残念なことだ改憲勢力は無所属をも加えると参院の三分の二を超えた。そして「国民怒りの声」は、代表で比例名簿順位一位の小林節さんを国政の場に送ることはできなかった。

今後の取り組みを仲間と再度検討するという小林節さん。彼の闘いを注視しつつ、憲法を巡るさらなる正念場の攻防へと向けて、私たち一人ひとりがしっかりと覚悟で、これに主体的に参加しなければならぬ。このようにして、改憲を何としても阻止できる取り組みを進めていく必要を痛感している。

関西セミナーハウス活動センター

●2016年度 修学院フォーラム「いのち」第2回

「花と音楽のコラボレーション」
いのちをめぐるメッセージ

ピアノニスト
作曲家 竹中 真さん
2016年5月21日(土)



昨年秋の「もみじまつり」に続いて、「花と音楽のコラボレーション」として、ジャズ演奏家の竹中真氏によるジャズピアノコンサートが開かれた。会場は、初夏の晴天に恵まれ、総ガラスの正面に東山を借景にした新緑の木漏れ日がさし、贅沢な舞台となった。



の日々」などとともに「花嫁人形」など明るさばかりではなく悲しみを含む内容もあり、竹中氏の語りとともに深い感動を呼んだ。
父親の故竹中正夫氏(同志社大学神学部教授)の関係でアメリカで生まれ、二重国籍をもって少年期を送った竹中



前半は、講師より「子どもの貧困とは何か」、被虐待児が6割を超える「社会的養護の子ども」への支援(①保護された子どもたちへの支援の課題②社会的養護の子どもを支えるシステムとしての課

●2016年度 修学院フォーラム「福祉」第1回

「子どもの貧困—社会的養護の子どもとその支援について考える」

大阪成蹊短期大学幼
児教育学科准教授 阪野 学さん
2016年6月11日(土)
共催・会場 京都YWCA

氏は、ベトナム戦争でアメリカ国籍を放棄したこと、芸術家としての音楽への思いと、人としてどう生きるかというメッセージを込めた音楽への思いなどが熱く語られた。終了後、希望者が残って、場所を能舞台(別館会議室)に変えてハープティーンをいた

場所を能舞台(別館会議室)に変えてハープティーンをいた。大きなながら講師を囲んでさらに深い話し合いを持つことができた。この場所もまた格別の趣があり、参加者は大いに満足できた。



通告義務がないこと、児相の体制が不足していることなどにより、しんどさを抱えた「親子」に対して社会がアプローチできずに益々追い込んでしまっていること。虐待通告ダイヤル「189」の普及も含めて、虐待の有無にかかわらず、子育て中の親子に対して常に多様な社会関係を築くコミュニティづくりの重要性が共有された。また、被虐待のトラウマを抱えた子どもへの支援として、自尊心を高め、自己肯定感を得られるように、心理治療と生活面での意図的な関わりをつくることの大切さを共有した。長期短期含めた「養育里親」普及の可能性も紹介された。

プログラム案内

◆関東活動センター

■聖書講座 2016「新しい聖書の学び」

「いのちの糧の分かち合い」(全 9 回)

講師：山口里子さん (日本フェミニスト神学・宣教センター共同ディレクター)

日時：2016年4月～2017年1月(8月除く)第2火曜18:30～20:00

会場：早稲田奉仕園スコットホール

参加費：1,200 円/学生 500 円

テキスト：『いのちの糧の分かち合い いま、教会の原点から学ぶ』新教出版社

共催：早稲田奉仕園

■2016関東フォーラム 今日的課題 I 「いのちを考えるー命の現場とキリスト教ー」(全 5 回)

第 3 回「自死願望の人にどう接するか」

講師：山中 正雄さん (精神科医)

日時：2016年8月1日(月)14:00～16:00

第 4 回「いのちを考えるーバイオエシックス (生命倫理) の視座からー」

講師：木村 利人さん (恵泉女学

園大学前学長・日本生命倫理学会元代表理事)

日時：2016年9月5日(月)14:00～16:00

■2016関東フォーラム 今日的課題 「熊本地震 支援報告会」

日時：2016年8月2日(火)

◎関西セミナーハウス

小泉 達彦、営業 (嘱託)、6 月 30 日付契約満了して退職しました。

財団本部 http://www.academy-nippon.com
関東活動センター http://www.academy-tokyo.com
関西セミナーハウス http://www.kansai-seminarhouse.com/
関西セミナーハウス活動センター http://www.academy-kansai.org

公益財団法人 日本クリスチャン・アカデミー

代表理事 小久保 正
本部事務局
〒 606-8134 京都市左京区一乗寺竹ノ内町 23
TEL 075-711-2147
FAX 075-701-5256

関東活動センター
〒 169-0051 東京都新宿区西早稲田 2-3-18
日本キリスト教会館 6 F
TEL 03-3207-6198
E-mail:info@academy-tokyo.com

関西セミナーハウス /
関西セミナーハウス活動センター
〒 606-8134 京都市左京区一乗寺竹ノ内町 23
FAX 075-701-5256

関西セミナーハウス
TEL 075-711-2115
E-mail:info@kansai-seminarhouse.com
関西セミナーハウス活動センター
TEL 075-711-2117
E-mail:office@academy-kansai.org

18:30～20:30
会場：日本キリスト教会館 6 階
参加費：500 円
共催：日本YMCA同盟、CWS Japan

■2016関東フォーラム 今日的課題 II 「古典で読む 20 世紀第 III 期」(全 4 回) 第 3 回「福沢諭吉の哲学」

ファシリテーター：武田 利邦さん (農村伝道神学校講師)

日時：2016年9月9日(金) 18:30～20:30

会場：日本キリスト教会館 6 階
参加費：500 円
テキスト：丸山真男『福沢諭吉の哲学』

◆関西セミナーハウス

■月釜 清心会
日時：2016年9月11日(日) 9:00～15:00 受付(年 10 回)

於：関西セミナーハウス
年会費：5,000 円、臨時会費 1,000 円

■第 4 回「修学院きらら山荘 薪能」

演目：能「羽衣」、狂言「仏師」
日時：2016年10月7日(金) 17:00～18:30(開場 16:15)

会場：関西セミナーハウス能舞台
鑑賞料：4,000 円 (要予約)
定員：100 名
協力：林宗一郎能の会

◆関西セミナーハウス活動センター ■2016 年度お茶のころと宗教のころ-2

「聖書をいっしょに読みましょう」(全 5 回)

座長：榎本 栄次さん (日本基督教団牧師)

日時：③9月7日(水)、④10月5日(水) 13:30～16:00

会場：関西セミナーハウス

参加費：1,500 円/学生 500 円 (抹茶込)
定員：10 名

■2016 年度開発教育セミナー 第 3 回「政治って何なんだ!? ～日本の戦後とこれから」

講師：白井 聡さん (京都精華大学 学人文学部)

日時：2016年9月10日(土)16:00～11日(日)12:00
会場：関西セミナーハウス
参加費：10,500 円 (1 泊 2 食込)

賛助会費・寄付金報告

2016 年 5 月 1 日～5 月 31 日 (順不同・敬称略)

◆関東活動センター

賛助会費		
西浦 昭英	2,000	
山根 誠之	5,000	
松井 直樹	5,000	
道正 洋三	5,000	
郡山 千里	10,000	
戒能 信生	10,000	
只野 哲	5,000	
武藤 陽一	5,000	
徳久 俊彦	5,000	
寄付金		
高橋 浩	10,000	

神学生交流プログラム募金

井口 拓人	1,000
石山 聆子	2,000
藤倉 寿美子	10,000
浦上 充	5,000
荒井 献	5,000

◆関西セミナーハウス

寄付金	
盛京亭会	5,000
武藤 高司	10,000
柳井 繁彌	5,000

◆関西セミナーハウス活動センター

賛助会費	
手銭 秀夫	5,000
川北 かおり	10,000
松田 光代	5,000
梅山 猛	10,000
松本 正俊	5,000
医療法人わたなべクリニック	10,000
春名 康範	10,000

柳井 繁彌	5,000
鳴海 信子	5,000
田辺 信子	5,000
新宗連大阪事務所 生田 茂夫	10,000
鳥居 興彦	3,000
森 ユキエ	5,000
公益財団法人 京都 YMCA	10,000
關岡 一成	5,000
殿村 元一	3,000
藤倉 寿美子	3,000
馬 濟泰	10,000
植村 敏子	5,000
喜多村 やよい	5,000
網野 俊賢	5,000
三矢 明	5,000
魚木 アサ	5,000
長塩 滋子	5,000
李 善恵	5,000
徳丸 延子	5,000
陶村 世佳子	5,000
五十嵐 万里子	5,000
木下 壽子	5,000
真鍋 裕子	5,000

寄付金	
渡辺 宏子	5,000
姫野 真知夫	5,000
小久保 正	100,000
松原 千里	4,000
林 律	10,000
坪野 えり子	3,000
喜多村 やよい	5,000
内藤 弘子	5,000
島田 恒	10,000
徳丸 延子	5,000

以上、感謝をもってご報告申し上げます。